

行政の窓

スマート林業の取組について

◆はじめに

本道では、カラマツやトドマツなどの人工林資源が充実するとともに、素材生産量や高性能林業機械の導入台数が全国一であり、他県に比べて広大で地形が平坦である優位性を活かし、北海道ならではの林業が展開されています。

一方で、今後、森林づくりを担う人材の不足が懸念されており、限られた労働力で、適切な森林の整備・管理を進めるためには、ICT等の新たな技術を積極的に活用していくことが必要であり、道では関係機関の協力のもと、新たな技術の実証や普及に取り組んでいます。

◆令和5年度(2023年度)の取組

(1) 産学官金による実証

道内の市町村や森林組合、木材関連団体、大学、金融機関、道などの産学官金からなる「スマート林業EZOモデル構築協議会」では、今年度から参画団体や地域を拡大して国事業「デジタル林業戦略構築推進事業」を活用しながら実証を行っています。

具体的には、植林・下草刈りの機械化と苗木の位置情報に基づく走行・作業による省力化、ICTハーベスタによる生産情報のデジタル化と、製材工場の土場での生産管理への活用、山間部の携帯電話不感地帯での通信環境の整備など、資源管理から造林、伐採、加工までの情報をデジタルでつなぐモデル構築に向けて、各地域で実証を進めています(写真1)。



写真1 通信環境を整備した山林内でのICTハーベスタの試行

(2) スマート林業機器の導入支援

スマート林業機器の導入を一層推進するために、「北海道スマート林業機器導入促進事業」により、森林資源を把握するためのドローンやリモコン式の下草刈り機械(写真2)などに対して導入支援を行っています。機器導入の要望がある方は、各振興局の林務課にお問い合わせください。



写真2 リモコン式の下草刈り機械

(3) スマート林業技術の普及

道では「スマート林業実装推進事業」により、ICTを用いた機械等の現地実演会の開催や、技術を活用できる人材の育成研修(写真3)など、様々な技術の普及に向けた取組を全道各地で展開していきますので、興味がある方は是非ご参加・お問合せください。

また、YouTubeチャンネルで、スマート林業に関する取組実績や実演会の様子などを配信していますので、是非ご覧ください。



写真3 位置誘導装置付き電動オーガによる人材育成研修

～YouTubeチャンネル～

昨年度の取組などはこちらから

北海道スマート林業 YouTube



(水産林務部林務局林業木材課スマート林業)